

芽室岳(1753m)山行記録

記録係 本野 栄子

4月29日幌別駅を5時に出発し途中苫小牧で相馬さんと合流し一路高速で十勝清水まで走ると遠くの山々はまだまだたっぷり雪を載っているが麓は春霞が漂う春の景色です。景色に見とれているうちにログハウス調の芽室岳の山小屋のある登山口に8時10分に到着。登山口にはもうすでに車で満杯の状態です。すでに大久保さんが待っていました。今年は雪が少ないので、知床登山に向けた訓練を兼ね全員スノーシュー登山となりました。8時40分に男性5名女性6名の雪山の芽室岳登山の始まりです。



左手に芽室岳山頂を捉え



矢印の急な雪壁を登る

小屋の横の芽室川に架かる大きな丸太橋を渡りすぐに右折し登って行くとやがて赤エゾマツ林になり登るにつれ勾配がきつくなりツボ足もここ迄で皆スノーシューを履きひたすら登ります。単調な登りが続きスノーシューで登るのも大変です、皆無口になってきましたが日高の尾根道は長くこんなもんですね。でも木々の芽吹きもまだなので見通しが良く白樺林の中は雪の白と樺の白黒がモノトーンの世界をつくりだし美しかったです。周りにハイマツが目立ってくると、右手に芽室岳西峰が左手にハイマツで黒く見える芽室岳が見えてきました。ここまで来ると沢山のスキーヤーが頂上に向かって登っていましたがこの急斜面を滑り降りるかと思うと内心ゾットしました。暫く登ると丸くこんもりとした今日一番の急斜面が見えてきましたがそこはサブリーダーしっかりとジグを繰り返してゆっくりと登ってくれました。疲れた体には本当に有難うです。12時50分に分岐に着き途中の急な斜面をトラバースしながらハイマツの稜線の素晴らしい展望には皆歓声を上げいままでの苦労も吹っ飛びました。途中から夏道に入り1時10分に頂上到着、日高の深さを見せ付けるようにピパイロ、幌尻、パンケ等数え切れないほどの山々が望まれ暫し見入ってしまいましたが雨がポツリと。少し降りた所で昼食を摂り2時に下山開始です。帰りはツボ足で下り始めたが雪が緩んで来て皆ぬかりあちらこちらで「アー」、「ウー」、「イヤー」とうめき声やら大笑いやら。もう腰までも何回もぬかるのでどうしようもありません。笑いの中最後には「血液型別に下りるべや！」なんでしょうこの会は……。3時50分に登山口到着です。



コメント

全員で掴んだ栄光の芽室岳の山頂です。

日高山系初登頂は長沼さんです。

昼過ぎに山頂から見る展望はやはり凄い大パノラマでした。

帰りは一路馴染みの日高路を走り、車中ではカミングアウトで大盛り上がり内緒におきましょうね！途中沙流川温泉にて入浴し、美味しい夕食を済ませ9時20分に幌別駅に到着です。雪の芽室岳本当に大変だったけれど、CL,そしてSLのお陰で登ることが出来ました。有難うございました。